

ア 開 始 日 年 月 日
イ カテール留置部位
ウ 装 具 の 種 類

エ 最近 6 か月間の実施状況	(最近 6 か月間に 日間)
オ 療 法 の 連 続 性	(持 続 的 ・ 間 歇 的)
カ 熱 量	(1 日当たり kcal)

② 経 腸 栄 養 法 :

ア 開 始 日	年 月 日
イ カテーテル留置部位	
ウ 最近 6 か月間の実施状況	(最近 6 か月間に 日間)
エ 療 法 の 連 続 性	(持 続 的 ・ 間 歇 的)
オ 熱 量	(1 日当たり kcal)

③ 経 口 摂 取 :

ア 摂取の状態	(普通食・軟食・流動食・低残渣食)
イ 摂 取 量	(普通量・中等量・少量)

4 便の性状

- (1) 下痢・軟便・正常
(2) 排便回数 (1 日 回)

5 検査所見 (測定日 年 月 日)

(1) 赤 血 球 数	/mm ³	(7) 血 清 ナ ト リ ウ ム 濃 度	mEq/l
(2) 血 色 素 量	g/dl	(8) 血 清 カ リ ウ ム 濃 度	mEq/l
(3) 血 清 総 蛋 白 濃 度	g/dl	(9) 血 清 ク ロ ー ル 濃 度	mEq/l
(4) 血 清 アル ブ ミ ン 濃 度	g/dl	(10) 血 清 マ グ ネ シ ウ ム 濃 度	mEq/l
(5) 血 清 総 コ レ ス テ ロ ー ル 濃 度	mg/dl	(11) 血 清 カ ル シ ウ ム 濃 度	mEq/l
(6) 中 性 脂 肪	mg/dl		

(注) 1 1 及び 2 が併存する場合は、それぞれに記入してください。

2 手術時の残存腸管の長さは、腸間膜付着部の距離です。

3 中心静脈栄養法及び経腸栄養法による 1 日当たり熱量は、1 週間の平均値によるものとします。

4 「経腸栄養法」とは、経管により成分栄養を与える方法をいいます。

5 小腸切除（等級表 1 級又は 3 級に該当する大量切除の場合を除く。）又は小腸疾患による小腸機能障害の障がい程度については、再認定を要します。

6 障がい認定の時期は、小腸大量切除の場合は手術時をもって行うものとし、それ以外の小腸機能障害の場合は 6 か月の観察期間を経て行うものとします。